

神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

友の会通信

109
2020.09

Vol.24 No.2 通巻109号 2020年9月15日発行(年4回発行)



ミニ企画展・役員会・アバターロボットによる博物館見学

コロナ下での活動

新型コロナウイルスについてはピークを超えたと言われてはいますが、7月に発出された「神奈川警戒アラート」がまだ続いており、引き続き警戒を要する状況です。新型コロナウイルス感染症対策は長期の対応が必要となり、感染拡大防止対策とともに、社会経済活動を行うなど両面の取組が必要です。友の会においてもコロナ対応について役員会で検討を行い、各講座担当者もこの状況のなかでの講座開催について検討していただきました。また情報発信として博物館情報コーナー（2階ライブラリー入口）にて友の会活動を紹介するミニ企画展を実施しました。また、余談ですが、神奈川県が分身ロボットを活用した実証事業として博物館にアバターロボットを持込み、障がい福祉施設から博物館を見学する取組など、新たな社会に向けた活動も行われています。

目次

情報クリップ	2
博物館 NOW	2
「昆虫を上手に採る術（すべ）」渡辺学芸員	3
行事案内	4

情報クリップ

友の会会員数：381名（8月1日現在）
正会員：380名／賛助会員：1名

●企画展「 Gondwana～岩石が語る大陸の衝突と分裂～」のご案内



開催期間：2020年2月29日（土）～
11月8日（日）
※会期を延長して開催しています。

観覧料：無料（常設展は有料）

大陸は、プレートの運動によって集まっては分裂して現在の姿となったことがわかってきており、大陸移動の履歴はおよそ10億年前までは詳細にさかのぼることができます。

今回は、およそ6億年前に南半球に存在した、現在のアフリカ、南アメリカ、インド、オーストラリア、南極のもととなった「Gondwana大陸」に焦点をあて、巨大な大陸はどのようにして生まれ、分裂したのか。その謎解きを岩石や鉱物、化石を通して行います。また、日本ではなじみの薄いGondwana大陸で誕生した生物たちも紹介します。

問合せ先：神奈川県立 生命の星・地球博物館
企画普及課 TEL：0465-21-1515
FAX：0465-23-8846

博物館の最新の情報は、公式ウェブサイト、および公式Twitter (@seimeinohoshiPR) などをご確認ください。

博物館NOW

「童心に帰る場所」

企画情報部長 飯田 泰道



友の会会員の皆さん、こんにちは。今年4月に福祉子どもみらい局高齢福祉課から参りました飯田です。教育委員会の所属への異動は県庁入庁以来初めてののですが、さかのぼること30年前、新採用職員として最初に配属された職場は、青少年行政の社会教育機関でした。堅苦しい言い方だと、生涯学習や青少年指導者養成などに携わっていました。要するに若い人たちと楽しく学んだり、遊んだりしていたわけです。しかし、博物館のようにアカデミックな場所とは今まで無縁で、ましてや自然科学系ともなると、高校段階で理系科目から脱落した私にとって、異動先として全くの想定外でした。

そんな私ですが、思い返してみると、子どもの頃、『シートン動物記』に熱中したことがあります。狼王ロボ、伝書鳩アルノー、そのほかタイトルは忘れましたが、犬、猫、熊や鹿の話など、時を忘れて読みふけりました。そういえば、ファーブルの『昆虫記』も読んでいました。あれほど集中していたのに、その後の勉学に活かせなかったのが残念でなりません（笑）でも当館との接点が見つかったので、早速、友の会に入会しました。接点はもう1つあるのですが、話が長くなるので、またの機会に譲りましょう。

さて、世の中では新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、当館は3月4日から6月30日まで約4か月にわたり臨時休館し、再開後も講座やイベントは8月31日まで中止させていただき、皆さんにご不便をおかけしました。今後、感染予防対策をしっかりと図った上で、徐々に再開していければと考えています。一刻も早く科学の力でワクチンが開発され、この感染症が終息することを願って止みません。

このような先の見えない時ですが、当館では感染症を正しく恐れつつ、子どもの頃のあの熱中に帰れる場所を提供していきたいと考えています。いわゆる「団塊の世代」が2025年にすべて後期高齢者となり、本県では2040年に県民の3人に1人が高齢者となることが見込まれています。あと〇年でその仲間入りとなる私もこの場所で童心に帰り、健康寿命を延ばしたいものです。どうぞよろしくお祈りいたします。

昆虫を上手に採る術（すべ）

学芸員 渡辺恭平

コロナ禍の影響で、屋外で遊ぶ子供を見かける機会が増えています。その中には捕虫網（以後、網）をもって昆虫採集に励む親子もいて、嬉しい限りです。そんな方々を見ていると、昆虫の採り方が判らずに悩む人が意外にいるようです。それを見て、採り方を伝えなければという学芸員魂がうずきましたが、大きな網を持ったヒゲ面のオジサンにいきなり話掛けられたら相手もビックリするでしょう。ですので、この場をお借りしてちょっとしたコツを皆さんに伝授させていただきます。

① セミを上手に採る方法

セミを網で採る子供が一番よくやるミスは、網をセミにかぶせた後、すぐに木から網を離してしまうことです。セミを網にかぶせたら、網の底に落ちるまで少し待ってから、網を木から離しましょう。これだけで捕獲率は大幅に上がります。スーパーやホームセンターで売っている網は口径が小さいですが、入り組んだ枝の間で鳴いているセミを採るにはかえって都合が良いです。この他、都市部の公園などで、低い位置にアブラゼミやミンミンゼミがいっぱいいる場所では、手で採集するのも意外に効果的です。風でゆれる木の葉のように手をふわふわと動かしながら、セミの15～20cmくらいそばまで手を近づけ、最後は素早くセミを抑えます。この技で私は幼少時セミ採りで周囲を圧倒しました（1分間で10頭くらいとれます）。

② トンボを上手に採る方法

トンボを採るコツは、ずばり後ろから網をかぶせる、です。トンボは前や上から来るものは良く見えるため、前や上から網をかぶせると、特にヤンマのように速く飛ぶトンボには逃げられてしまいます。また、むやみに網を振って不必要にトンボを逃がさないことも重要です（じっくり待ち伏せし、粘る）。池の周囲でトンボを採る際はぜひ試してみてください。



子供の憧れ、ギンヤンマ

③ カブトムシやクワガタムシを上手に採る方法

まずは樹木の種類を覚えましょう。図鑑などを見ながら、緑地でクヌギ、コナラ、タブノキ、シラカシを探して、しっかり覚えます。特に公園では虫捕りするライバルが多いので、一般の人があまり知らないタブノキとシラカシを知っているだけで、思わぬ成果が望めます。昼間、カナブンやヒカゲチョウを目印に樹液を探し、そのような木があればスズメバチに注意して調べます。樹液が出てなくとも、木をけるとノコギリクワガタやコクワガタが落ちてくることがあります（日当たりの良い、細い木がおすすです）。ける前に、木の枝がどちらに伸びているかを見ておくと、落ちる場所が予想でき、逃げられる量が減ります。また、虫たちは木の根際に隠れていることもあるので、落ち葉などを盛っておくとよいでしょう。カブトムシは周囲に畑がある雑木林や公園で、夜間に樹液を探すと良いでしょう。

④ アメンボを上手に採る方法

アメンボを採るときは、思い切って上からすばやく網をかぶせ、アメンボごと水没させて採集します。そのため、昆虫用の網よりもすぐに乾く魚採り網の方が良いでしょう。アメンボは体に空気を貯める細かな毛を持っているので、少しくらい水に浸かっても、溺れることはありません。水没させた網を素早く反転させ、地上に上げます。アメンボは跳ねて逃げるので、素早く手で掴まえます。捕まえたらアメンボの名前の由来（飴のような匂いがする棒）となった飴のような匂いをぜひ嗅いでみてください。

行事案内

9月以降の当面の行事について、状況をご連絡いたします。実施する講座については、チラシ及び友の会ブログや博物館ウェブサイトにて詳細をご案内いたします。なお、実施予定の講座についても新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります。

- 身近な植物観察入門：**実施**
日時：9月26日（土）、10月24日（土）
11月28日（土）
場所：博物館周辺
対象：どなたでも（オープン）
備考：詳細はチラシにて
- 昆虫観察会「秋の虫こんにちは」：**中止**
日時：9月30日（水）
場所：小田原市久野
- 植物観察会「草原の秋草を楽しむ」：**実施**
日時：10月5日（月）
場所：静岡県熱海市岩戸山
対象：友の会会員
備考：詳細はチラシ、ブログにて
- よろずスタジオ「動物の歯とたべもの」：
検討中
日時：10月18日（日）
- 生物間共生講演会Ⅷ「葉っぱの上で大勝負」：**延期**
日時：10月24日（土）
場所：博物館西側講義室
- 植物観察会「秋の深まりを感じて歩く」：
実施
日時：11月5日（木）
場所：県立座間谷戸山公園
対象：友の会会員
備考：詳細はチラシにて

- 第140回サロン・ド・小田原「神奈川県鳥瞰図 v.s. 宇宙から見た神奈川」：**延期**
日時：11月14日（土）
- よろずスタジオ「木の実・草の実でリースを作ろう」：**中止**
日時：11月15日（日）
- テフラ観察会：**延期**
日時：12月12日（土）
場所：関東地方南部
対象：友の会会員
備考：2021年度に実施予定
- よろずスタジオ「ミツクリザメを観察しよう！」：**検討中**
日時：12月20日（日）
- よろずスタジオ「砂で遊ぼう」：**中止**
日時：1月17日（日）

—広報部より—

今回も、新型コロナウイルス感染症対策等により、友の会講座が実施されないことから、友の会通信の紙面も通常のものから縮小した内容となっています。

次号は、2020年12月15日発行予定です。

発行：神奈川県立生命の星・地球博物館友の会
Vol.24、No.2、通巻109号 2020.9.15 発行
編集：友の会広報部
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
TEL：0465-21-1515 FAX：0465-23-8846
E-mail：kpmtomo@ybb.ne.jp
Blog：<http://blog.livedoor.jp/kpmtomo>
Twitter：[@kpmtomo](https://twitter.com/kpmtomo)